



ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10)

例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

令和3年3月9日(火) 第2940回 例会 (本年度第24回)

3月 23日(火)	うどん打ち家族例会
3月 30日(火)	RI規定休会③
4月 6日(火)	理事会・ゲストスピーチ:ツルカンシステム(株) 代表取締役 吉宮哲史 氏
4月 13日(火)	ゲストスピーチ:鶴岡青年会議所 理事長 五十嵐 由浩 氏

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/>



会長挨拶

会長／佐藤詩郎

本日は、(株)アイディアの北風さまから卓話をいただきます。よろしくお願ひいたします。

自分が幹事の時に、会報入れのボックスだったか、門脇さんの脇のボックスだったか定かではないのですが、その整理整頓をしていたとき、情報委員会で作成した2001年と2009年の冊子がありました。読んでみようと思いつってあったのを最近見つけて読んでみました。2001年は中井亮さんが執筆者で2009年は情報委員長の佐々木皓彦さんでしょうか。その前書きの一文を読みます。「これは解説書を作るとか、教科書・指導書を作るつもりで書かれたものではない。解説書・指導書・活動指針とその内容については、ロータリークラブ会員の多くの先輩諸兄から、星の数程ではないが相当数の諸書が出版されている。そのどれもが凡人には中々理解できにくい。特にロータリーの哲学とか、超我の奉仕とか言わわれると、目の前に巖として壁が立ちはだかった様な感覚になりかねない。そして随所に飛び出していく英語が思考の邪魔をする」…とばして、「鶴岡ロータリークラブは、この地域でもある意味で特殊なクラブである。創立50年を経過した歴史の重さというのがある。それだけに創立当時は所謂名士メンバーであり…それらの会員の人格に触れる事ができた。この風潮はいまも連綿と受け継がれている」この一部の文章が鶴岡ロータリークラブの伝統と思いました。これをみなさまお持ちの方もいらっしゃると存じますが、記録としてPDFにして後に展開してまいります。



丸池さま

幹事報告

幹事／越智茂昭

○ロータークラブ年次大会について

日時：4月24日 会場：東京第一ホテル鶴岡

登録料：2,000円（昼）5,000円（夕べ）

「庄内の美景」発行まで

株式会社アイディア 専務取締役 北風加奈氏



1. 自己紹介と弊社について

e-Towns という庄内の情報誌の編集長をしております。スーパーなどに設置している、欲しい方がもっていくスタイルの無料の情報誌です。

学生時代にニュージーランドに留学していたことがありまして、旅行者が無料で手に入れられる情報誌がたくさんある観光大国にあこがれ、素晴らしい景色や素材をもった庄内でもと思い、夫と情報誌を立ち上げました。

2. 「庄内の美景」発行

今、私がライフワークとして進めているものは有料誌の制作です。編集として庄内のあちこちを取材に回って知った、景色の素晴らしい場所を紹介しています。e-Towns 創刊15周年の年に企画し、完成・発行まで約2年かかっています。令和元年9月発行しました。

この本では「アイキャッチ」を庄内の美しい景色のビジュアルにして、行ってみたいと思わせる、誘客ガイドブックとして情報を入れています。A4版フルカラー 56ページ 1,980円（税込）で庄内の各書店さんに置いていただいている。今日はその内容をほんの少しお見せして説明させていただきます。

出席報告

会員数	26名
出席	19名
出席率	76.00%
前々回確定出席率	76.00%

■ RI会長 ホルガー・クナーク

■ 地区ガバナー 齋藤 榮助

■ 会長／佐藤詩郎	■ 副会長／西川富美子	■ 幹事／越智茂昭	■ 会長エレクト／榎本久静子
■ 会報委員会／小林健郎・真島吉也・本間 厚			

事務局：山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

〈丸池さま〉

この色を見て、行ってみたいなと思った人はこちらのQRコードから情報が得られるようになっています。スマホで読み取ると、私が行ってきたときのことがブログのように書いてあります。看板や、道、途中で寄った茶屋などの寄るべきスポット、滝の動画など。紙面が春先の新緑が美しい場所の写真なら、webには秋の紅葉の様子の写真を入れたりして、感想を書いています。また、地図、観光協会などのページへのリンクもあって、アクセス方法がわかるようになっています。

〈中山河川公園〉

日本の原風景と思うような風景がみられて、私も行った時に懐かしく感じました。写真の撮影は、遊佐町出身で酒田在住の佐々木聖紀さんというかたにお願いしました。e-Townsの表紙でもお世話になつていて、アマチュアの撮影家で、庄内地域を精力的に撮影して活動しています。私は鶴岡出身なので、北庄内方面には不案内で、酒田遊佐方面の詳しい方に教えてもらって編集を進めることができました。実際に撮影する時に同行させていただきまして、その際に感じたことなどを文章にして、添えています。写真をみながら読み、イメージをふくらませていただけるようです。

〈創造の森〉

羽黒にある八重桜の名所です。撮影の時、管理人が教えてくれたんですが、テラスから見ると、桜が輪のように見えました。こういう見方も知るとまた一つ楽しめます。

〈七つ滝〉

紅葉の七つ滝。朝日地区の茅葺き屋根で有名な多層民家からすぐのところにある滝です。多層民家は行ったことある人多いと思いますが、七つ滝はみないでしまうかた多いのではないかでしょうか。日本の滝100選に選ばれている、三つの爪のように別れた滝がまた一つに合流してさらに落ちていく、美しく珍しい滝です。

〈大吉桜〉

湯殿山の七五三掛桜で有名な注蓮寺ですが、昨年行った時は境内にある七五三掛桜は樹の勢いを取り戻すためにバンデージをほどこしていて、包帯巻いたような痛々しい状態でした。境内からでたすぐそばに「大吉桜」という見事な枝垂れ桜があります。この辺りは七五三掛桜以外にも大日坊や棚田に見事な一本桜がみられるので機会があったら行ってみてほしい場所です。

〈三瀬 岩百合〉

三瀬の琴平荘さんはとても有名になりましたがその裏の岩に実は祠があって、その手前に岩百合が一面に咲くところがあります。このように、庄内の地元の人でもちょっと目を向けるとすぐそばにすばらしい風景があるのでですが、気がつかないところがたくさんあります。

3.「庄内の美景」 続編～花の旅～ 発行について

発行から2年目、さまざまの声を頂戴しています。「親の反対を押し切って勘当状態で都会から庄内に嫁に来て今、両親の墓前に『庄内の美景』を備えてこんなに素晴らしいところに暮らして自分は幸せだと見せることができた」とか、「親戚で『庄内の美景』の本を見せたら、みんな行ってみたいと、親戚で庄内ツアーや決まりました」とか新型コロナウイルスが広まる前にたくさんの声をいただいていました。感染拡大防止対策で緊急宣言が出たりした後にも「都会に離れて暮らす息子に、食料と一緒に送った」とか「商店街での小旅行を考えていたが、こんなにすばらしいところが庄内にあると再認識してみんなで行ってみた」との声をいただきました。

そこで続編を作ることを決意して、「花の美景」を現在制作中です。厳しいコロナ禍の状況を耐える中で、生命力にあふれる花の景色をみなさまにお届けしたいなと思い、大雪に見舞われた厳しい冬の間に花の写真を選び、文章を書いていました。昨日やっと原稿ができ、今日はほっとした気持ちでこちらに参りました。3月末～4月上旬に書店に、前作と共に並ぶ予定です。よろしければお手元にお持ちいただき、これから来る春を楽しんでいただければと思います。

委員会報告

○出席委員会

◆マークアップされた方（3月3日扱い）

藤川享胤君 榎本久静子君 高橋弘美君

スマイル

佐藤 孝子君 北風さん、48年間庄内に住んでいても知らない所ばかりと改めて気づきました。庄内の美景ぜひ拝見したいと思います。高山さん、アレックス君、ありがとうございます。

武田 啓之君 アレックス君、今日はありがとうございます。昨年の庄内日独協会の設立に立ち会って頂きありがとうございます。

西川富美子君 アレックスさんへ、昨年9月ですが、ご卒業おめでとうございます。コロナで大変ですが、ドイツに戻ってもお元気で頑張って下さい。北風さんへ、お世話になっております。本日はスピーチをお聞きすることができず残念です。また、鶴岡ロータリーの例会にご参加下さい。

高橋 弘美君 北風加奈さん、本日はさまざまなご縁があってお話いただきありがとうございました。庄内の魅力を再発見できた気がします。

藤川 享胤君 ①アレックスさん、ドイツで頑張って下さい。②「庄内の美景」を懐かしくみさせていただきました。③高山さん、お世話様でした。

富樫 松夫君 北風さんスピーチ有難うございました。

アレックス君 今日のインヴィテーションをありがとうございます。

高山 裕司君 4年間、大変お世話になりました。

佐藤 詩郎君 北風さん、卓話ありがとうございました。アレックスさん、ドイツで活躍して下さい。高山さん、4年間ありがとうございました。四国でがんばって下さい。

越智 茂昭君 北風さん、ありがとうございました。